

社会的責任向上のためのNPO/NGOネットワーク
2022年度 事業報告書(23年5月23日 総会承認)

<実施期間>

2022年4月1日～2023年3月31日

<2022年度の方針>

2008年の設立以来15年目を迎える本年度は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大によって、さらに深刻化した課題への対応とともに、SDGsの達成や持続可能な成長の実現に向けた本質的な取り組みを促すために、多様な主体による連携を、特に地域において推進できるよう、働きかける。

【1】NPO/NGOが自ら取り組む社会的責任(以下、SR)の普及

NPO/NGOが自らの組織で取り組むSRを推進するため、具体的な取り組みを紹介し共有する機会を広げる。

【2】他セクターとの協働によるSRの普及

さまざまなセクターと連携してSRへの取り組みを促進するべく、NPO/NGOの取り組みや成果を他セクターと共有し、また他セクターの取り組みからも学ぶとともに、他セクターのSRへの取り組みを促すNPO/NGOを育成・支援する。

【3】社会的影響の大きい課題に対するマルチステークホルダープロセスの推進とアドボカシー(政策提言)の強化

SDGsや社会的孤立をはじめとする社会的な影響が大きい課題に対して、マルチステークホルダープロセスにより社会的責任が果たされることに尽力するとともに、その課題の重要性と具体策を提言するとともに、地球環境や貧困などの国際的な課題へのアプローチにおいてもSRへの配慮がなされること、またその担い手自身が社会的責任を果たすことの必要性を訴える。

上記方針を実現することを目的としつつ、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するために、下記のプロジェクトを中心として、フォーラムやセミナーなどは、当面の間はオンライン開催を原則とし、安全確保が見込める時点から対面とオンラインのハイブリッド開催とし、また、会費徴収については、2020年度・21年度に引き続き今年度も見合わせることにする。

<2022年度の事業報告>

【1】社会責任に関連する規格の策定・普及(主担当幹事団体: 難民を助ける会)

1.「ISO26000 Stakeholders Global Network(SGN)」のNGOメンバーとして、NNネット代表協議者(堀江)が参加している。同ネットワークの定例オンライン会合に堀江良彰が参加した(5月3日、7月7日、10月26日、2023年1月11日)。また、12月7日にSGN主催で開催されたイベント「Global Forum on Development and Trend of ISO26000」に堀江が登壇した。加えて、堀江は2023年1月にSGNのNGOセクターのアンバサダーに選出された(任期2年)。3月16日にSGNのNGOセクターの会合が開催され、堀江が参加した。

2.ISO26000の発行から満12年を記念し、SRセミナー 2022第1回「労働CSR導入について考える」を対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、合計約30名の方にご参加いただいた。

日時: 2022年11月8日(火)18:00～20:00

場所: オンラインおよび地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)のハイブリッド形式

発題および討論: 熊谷謙一氏(日本ILO協議会)

堀 永乃氏((般社)グローバル人財サポート浜松)

松村 渉氏((特)ひろしまNPOセンター)

登壇者討論: 熊谷謙一氏、堀永乃氏、松村渉氏 堀江良彰(NNネット幹事/AAR Japan)

進行:川北秀人(NNネット幹事/IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

開催報告記事:<https://sr-nn.net/archives/5955>

3.国内の他のステークホルダー(SJN:ステークホルダー・ジャパン・ネットワークメンバー)とのオンラインでの懇談会(2023年3月2日)に堀江が参加し、社会的責任をめぐる内外の動向に関し、他のステークホルダーと意見交換を行った。

4.ハンドブック『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』を引き続きホームページを通じて販売した。

【2】公共調達をはじめとする調達における社会責任対応推進(主担当幹事団体:IIHOE)

1.SRセミナーの第2回として、「多様な立場から取り組むSDG8『働きがいも経済成長も』～SDGs実現のためのサプライチェーンと人権～」を、対面とオンラインのハイブリッド形式で開催し、約30名の方にご参加いただいた。

日時:2023年1月11日(火)18:30~20:30

開催形式:ひろしまオフィスセンターでの対面ならびにオンラインのハイブリッド形式

趣旨説明:松原裕樹(NNネット幹事、(特)ひろしまNPOセンター)

発題:川北秀人(NNネット幹事、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

田村太郎氏((一般社)ダイバーシティ研究所)

発題者による討論と、ご参加者との意見交換(進行:松原裕樹)

参加者数:約30名

開催報告:<https://sr-nn.net/archives/6003>

2.NNネットが「社会的責任ユニット」の幹事を務める一般社団法人SDGs市民社会ネットワークからのご依頼に基づき、同会のウェブサイト内のブログページに、幹事であるIIHOE・川北が執筆を担当したコラムが掲載された。

「行政の『社会的責任』調達で、地域と地球の持続可能性を高める！」

https://www.sdgs-japan.net/single-post/sdgsblog_20220804srunit

【3】NPO/NGOの社会責任(NSR)への取り組み推進(主担当幹事団体:IIHOE)

1.SRフォーラム2022として、「非営利組織のガバナンス拡充を進めるために-146団体アンケートから考える-」を、オンライン(zoomミーティング)で開催し、約30名の方にご参加いただいた。

日時:2022年5月18日(火)18:00~20:00

開催形式:オンライン(zoomミーティング)

趣旨説明:小堀 悠氏(NNネット監事、(特)NPOサポートセンター)

調査報告:川北 秀人(NNネット幹事、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

登壇者討論(進行:川北秀人)

ご登壇者:山田健一郎氏((公財)佐賀未来創造基金/(一般社)全国コミュニティ財団協会)

「非営利セクターガバナンス拡充プロジェクト」準備会メンバー

・NPOの社会責任(NSR)取り組み推進プロジェクト(NSRプロジェクト):小堀悠氏

・全国NPO事務支援カンファレンス:志場久起氏((特)わかやまNPOセンター)

加藤彰子氏((特)岡山NPOセンター)

・一般社団法人非営利組織評価センター:山田泰久氏

質疑応答、まとめ

参加者数:約20名

開催報告:<https://sr-nn.net/archives/5916>

2.SRセミナーの第3回として、「組織のガバナンスに地域から挑む ~静岡県内の非営利組織ガバナンス調査から

考える私たちの課題～」を、オンライン(zoomミーティング)で開催し、約20名の方にご参加いただいた。

日時:2023年3月7日(火)18:00~20:00

開催形式:オンライン(zoomミーティング)

趣旨説明:松原裕樹(NNネット幹事、(特)ひろしまNPOセンター 理事・事務局長)

発題①「もしものときに、自分たちも、そして市民も支える組織に～静岡県非営利組織ガバナンス調査から～」

天野浩史((特)ESUNE、(公財)ふじのくに未来財団)

発題②「非営利組織のガバナンスの自律的な拡充に向けて」

川北秀人(NNネット幹事、IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所])

発題者による討論と、ご参加者との意見交換(進行:川北秀人)

参加者数:約20名

開催報告:<https://sr-nn.net/archives/5993>

【4】SDGsと社会的責任(主担当幹事団体:難民を助ける会)

1. SDG市民社会ネットワークの社会的責任ユニットに参加した。毎月開催される事業統括会議に代表協議者が出席したほか、SDGs推進円卓会議民間構成員が主催した「SDGs実施指針に関するパートナーシップ会議(2022年7月27日・10月24日開催)」に参加した。また、12月5日に開催された議員勉強会にも代表者を派遣し、社会的責任の観点から特に持続可能な公共調達について提言を行った。

2. 北海道国際交流センター(HIF)主催の「Hakodate MARCHE SDGs Vol.4」(9月17日・18日開催)のステージ企画「SDGsトーク:NNネット堀江良彰さんと語ろう」(18日13:30-15:00)に企画協力し、函館市内などでのSDGs取り組み事例紹介に続いて、難民支援やNGO活動の意義や課題についてコメントした(会場での聴衆とオンライン参加者 計約50名)。

3. NNネットが「社会的責任ユニット」の幹事を務める一般社団法人SDGs市民社会ネットワークからのご依頼に基づき、同会のウェブサイト内のブログページに、幹事であるIIHOE・川北が執筆を担当したコラムが掲載された。

「課題が主役」の地域円卓会議で、決めてみる・やってみる地域づくり

https://www.sdgs-japan.net/single-post/sdgsblog_20220811srunit

【5】情報発信・広報事業(主担当幹事団体:ひろしまNPOセンター、IIHOE)

1. SRフォーラム、SRセミナーを中心とした情報発信

NNネットのウェブサイト、メーリングリスト、Facebookのページを通じ、上記のSRフォーラム(1回)、SRセミナー(3回)の広報、報告を行った。

2. ウェブサイトの管理

ウェブサーバーおよびウェブサイトの定期的なバージョンアップ更新などのメンテナンスを実施した。

3. ハンドブックを活用した啓発活動

ホームページを通じて広報を行ったが、販売にはいたらなかった。

3)その他

1. 社会的責任に関する円卓会議(以下、SR円卓会議)への参画と推進

同会議に関連する協議や会議は行われなかった。

2022年度 組織運営(事務局業務)報告

<実施期間>

2022年4月1日～2023年3月31日

<業務報告>

1. 会議等の開催

(1)第15回 通常総会の開催

日時:2022年5月18日(水)15:00～17:00

会場:オンライン開催

議題:

- ・2021年度事業報告(案)・決算(案)の承認
- ・2022年度事業計画(案)・予算(案)の承認
- ・2022-2023年度幹事の選任
- ・2022-2023年度監事の選任
- ・その他

(2)幹事会の開催

- ・第146回幹事会 4月19日(火)14:30-16:00 オンライン開催
- ・第147回幹事会 5月18日(水)14:00-14:30 オンライン開催
- ・第148回幹事会 7月12日(火)14:30-16:00 オンライン開催
- ・第149回幹事会 9月20日(火)14:30-16:00 オンライン開催
- ・第150回幹事会 11月8日(火)14:30-16:00 地球環境パートナーシッププラザ(GEOC)
- ・第151回幹事会 2023年01月11日(水)14:30-16:00 オンライン開催
- ・第152回幹事会 2023年02月7日(火)14:30-16:00 オンライン開催
- ・第153回幹事会 2023年03月7日(火)14:30-16:00 オンライン開催

2. 事務局業務の実施

2019年度から事務局業務を下記の5つに分割し、各担当幹事が中心となって実施した。

- ・会員管理(担当:ひろしまNPOセンター、HIF)
- ・会計(IIHOE)
- ・広報(IIHOE、ひろしまNPOセンター)
- ・在庫管理(難民を助ける会)
- ・幹事会および総会準備に係る事務(IIHOE)

2. 会員管理(担当:ひろしまNPOセンター、HIF)

(1)会員へのフォローアップ

- ・会員の入会、継続、休会対応等の業務をおこなった
- ・会員メーリングリストの運営と管理
- ・会員に対して、幹事会終了後、幹事会議事抄録を配信
(会員MLへの投稿、ウェブサイトへの掲出と併せて、持ち回りの前回の議長団体が担当。)

(2)会員データベース管理

- ・会員情報の整理と管理

3. 会計(担当:IIHOE)

(1)日常的な会計

- ・管理ルールに従い、入金・支払い・精算等の手続きおよび記録をおこなった。

(2)資金管理と検査

- ・預金などの日常の管理状況を検査する業務をおこなった。
- ・決算書の作成を行い、報告した。
- ・監事による監査をおこなった。

4. 広報(担当:ひろしまNPOセンター、IIHOE)

(1)ウェブサイトなど管理・運営に関する業務

- ・ウェブサイトなどの管理・運営を行う。
- ・外部からの代表アドレス宛ての問合せに対応する。

5. 在庫管理(担当:難民を助ける会)

(1)ハンドブックの在庫管理

- ・『これからのSR—社会的責任から社会的信頼へ』、『策定に関わったNPOが読み解くISO26000』の在庫の管理を行う。

6. 幹事会および総会準備に係る事務(担当:IIHOE)

(1)幹事会開催準備、報告

- ・幹事会開催の日程調整等

(2022年度の幹事会議事次第作成は持ち回りの議長団体が担当し、議事録作成も持ち回りで担当)

(2)総会開催準備

- ・総会開催にかかる準備、資料作成等

以上